

## SC経営士会（研鑽研究グループ）2022年度年間研究

# 第4回テーマ メタバース×SC

## 今、話題の「メタバース」を学んで、SCとの可能性を探る！

SC経営士会が提言する年間研究の題材は「アフターコロナを見据えたショッピングモールの未来像」。第4回のテーマは「メタバース×SC」！ SCに関わる全ての人にとって関心が高いテーマについて、初歩的な内容から、SCでの可能性について考えるべきポイントをわかりやすくお話し頂きました！今回は業務広報グループと研鑽研究グループが協同で企画・構成・編集した特別編です！

### 【内容】

#### ■第1セッション：今、話題の「メタバース」を学ぼう！

- ・「メタバース」の仕組みや歴史って？
- ・「メタバース」って何が話題なの？なぜ今後メタバースが必要ななの？
- ・日本と世界で今後も伸びるの？世界のコミュニケーションがどのように変わっていくの？
- ・どこから入ったら参加できるの？
- ・バーチャルとリアルの融合ってどういうこと？今までのネットと何が違うの？
- ・メタバースはSCがこれから共に歩むべきプラットフォームなの？

#### ■第2セッション：「メタバース×SC」の可能性を探る！

- ・凸版印刷が運営する「メタパ®」「MiraVerse®」で、メタバース空間を体験してみよう！
- ・SCのお客さま/テナント/ディベロッパーにとってのメリットって？
- ・出店の方法や代表的なテナントって？
- ・メタバースでSC業界が変わる！
  - 販売する商品にNFT・デジタルアート等が入りこむ可能性って？
  - 2030年頃までに起こる変化って？

### 【視聴対象・視聴URL】

（対象）SC経営士会・SC協会会員

（動画時間）第1セッション約20分、第2セッション約30分 計約50分

（視聴URL）<https://youtu.be/drbgvdyVMDY>

視聴したいときに、  
視聴したい時間だけご覧になれます！

### 【インタビューアー・ゲストスピーカーご紹介】



（インタビューアー）  
トリニティーズ株式会社  
代表取締役社長  
SC経営士会 業務広報G  
副グループ長  
中山 亮 氏（SC経営士）



（ゲストスピーカー）  
凸版印刷株式会社  
情報コミュニケーション事業本部  
マーケティング事業部  
エクスペリエンスデザイン本部  
プロデュース部 担当課長  
小林 正典 氏



（ゲストスピーカー）  
凸版印刷株式会社  
情報コミュニケーション事業本部  
未来イノベーションセンター  
先端表現技術開発本部  
ミラバース事業開発部 部長  
張 平 氏

# SC経営士会 2022年度「夏の例会」開催のご報告

研鑽・研究グループ 運営委員  
株式会社ルミネ 総合企画本部 総合企画部 鈴木 碧

過日、研鑽・研究グループの企画として、SC経営士相互の研鑽と交流を目的とした「夏の例会」を開催いたしましたのでご報告いたします。

- ◆開催日時 : 2022年7月5日(火) 15:00~17:10
- ◆申込人数 : 113名(会場受講:30名 オンライン受講:83名)
- ◆会場・形式: SC協会でのリアル受講とZoomによるオンライン受講のハイブリッド方式
- ◆内容

タイトル: “場”の声を聴く~ソフトの力で不動産価値を上げるには~  
講師: 東方文化支援財団 代表理事 中野 善壽(なかの よしひさ)氏  
インビュアー: 株式会社JTB 常務執行役員 三輪美恵様(SC経営士会副会長)  
テーマ: かの有名な寺田倉庫大改革の立役者であり、現在は熱海の老舗ホテルの経営者に転身した中野氏に、天王洲をいかに開発し不動産価値を向上させたのか、そして、現在行われている熱海の活性化や、アートを基軸とした地方創生事業について、事業内容だけでなく、ライフスタイルや経営者としてのマネジメントのあり方まで、独自の視点で幅広くお話しいただきました。



中野 善壽氏

## ◆当日の様子



(左) zoom上に投影されたプロフィール  
(右) 登壇された中野さんと司会の三輪副会長

## ◆所感

- ・寺田倉庫社長時代の天王洲アイル大改革について、不動産の価値と自社のアセットを正しく見極め、どんな事業が向いているのか?をどこまで突き詰めた結果、思い切って物流業を廃止し、高級倉庫保管業に舵を切ったというエピソードから、既存概念に捉われず、時代や市場の流れを汲んだエリアの価値を正しく理解し、事業の本質を捉えていく姿勢は、不動産に付加価値を生み出すSC経営士としては、大変刺さるものがありました。
  - ・常に縛られることなく身軽で自由に切り拓いていく型破りな中野さんの仕事への向き合い方や人生の価値観は、SCという業界の枠を超えて、一仕事人として、一人間として非常に刺激を受け、感銘を受けました。特に日本社会では未だ年功序列や前年踏襲といった固定概念に縛られ、身動きが取りにくいケースが多く、これからの人生を考えさせられる大変貴重な機会になったと思います。
- ※ご参加されなかった方も、ぜひ中野さんの人生観が詰まった著書(右記)をご一読ください!  
『ぜんぶ、すてれば』(2020年/ディスカバー・トゥエンティワン)



## ◆聴講者コメント(一部紹介)

- ・働き方や、働くことの意味を考えさせられる会でした。経営士としてというより、人として、企業人としてということを考えさせられました。
- ・経営者としての持論が大変参考になり、組織運営に携わる者として、自分なりの基準を持ち、経営に参画していきたいと感じました。
- ・「データや科学を抑えることは重要だが、経営者は感性で判断をしていくべきだ」ということが、自分事の小さい判断としても参考になりました。
- ・エリアマネジメントにおいて全てを望むことはできないが、できることからやるという講師からのメッセージを、自身の活動にも活かしていきたいです。
- ・SCという狭い視点ではなく、出店エリアの魅力や価値を再発見する視点からどうSCとして貢献できるかを考えることが重要だと思いました。
- ・AIに勝つためには、過去ではなく未来を創造すること(感性&センス)が必須であり、未来が見えづらいからこそ、過去の経験に基づく判断をしがちであるが、どんな未来にしたいか、どんなSCにしたいかをもっと熱く語ってほしいと思いました。

今回「想定していたテーマの議論と違って、プライベートの話が多く、実務的な話がなかった。」といったコメントも頂戴しましたので、企画サイドとして真摯に受け止め、今後の企画に活かしてまいります。

# 東日本4ブロック共催 新SC経営士歓迎イベント開催

三井不動産商業マネジメント株式会社  
人事部 人事課 課長補佐  
若宮 淳子  
(関東・甲信越ブロック 運営委員)

北海道、東北、関東・甲信越、中部の東日本4ブロックでは、4ブロック共催で新SC経営士歓迎イベントを開催しました。本イベントは、2019年5月、第27期の新SC経営士を対象に初めて企画し、座談会終了後、会場近くの飲食店で盛大に懇親会を実施しました。2020年度も、第28期の新SC経営士を対象として座談会と懇親会を企画しましたが、新型コロナウイルスのまん延により急遽中止しました。さらに翌2021年度も延期となり、今回のイベントは3年ぶりの開催となりました。したがって、第28期～第30期までの3期にわたる新SC経営士に向けた歓迎イベントとなり、総勢89名の方が対象となりました。

今回、コロナが小康状態となったため、リアルとオンライン併用によるハイブリッド方式を採用しました。リアルでの参加希望があった新SC経営士のみが会場に参加しました。結果的に16名の新SC経営士が会場にて参加し、事前に提出していただいた「プロフィールシート」をもとに、参加者の人となりを紹介することができました。「プロフィールシート」は新SC経営士53名より提出があり、新SC経営士同士の交流を深めてもらうため、イベント終了後提出者間で共有しました。

第一部のクロストークでは、4ブロックより各ブロックを代表する論客にご登壇いただき、「SCの社会的存在意義について再定義する」という有意義なテーマについてディスカッションを繰り広げました。それぞれのパートについて、札幌駅周辺の再開発事業や「JRタワー」、「フェザン」（岩手県盛岡市）、「二子玉川ライズ」、「T-FACE」（愛知県豊田市）など、各ブロックよりふんだんに事例紹介が行われ、極めて充実した内容となりました。

今回も、昨年11月に開催された「秋の例会」同様、イベントの様子をカメラで撮影しながら、「ライブ配信」風にオンラインで配信しました。また、第一部のクロストークと第二部の新SC経営士との交流企画では、登壇者や新SC経営士全員が映るように会場レイアウトやカメラアングルを工夫しました。

本イベントの進行全体については、参加された36名の方からアンケートをいただき、概ね高い評価をいただきました。今後とも新SC経営士と既存SC経営士の親睦を深めるため、継続的に新SC経営士の歓迎イベントを開催してまいります。

## 【第一部】クロストーク（75分）

(1) テーマ：「SCの社会的存在意義について再定義する」

(2) 内容

- ・ SCの社会的存在意義について
- ・ 「地域のプラットフォームとしての取組み」・・・コミュニティ空間や、地域活動の場に関するTRY
- ・ 「地域の先陣（先進性）としての役割」・・・Tech Maas, OMOなど、新しい社会生活との接点としてのTRY
- ・ 「社会の公器とマネタイズの共存」・・・新しいマネタイズの方法についてのTRY
- ・ 「こんな取り組みいいな。」・・・他施設、海外事例も含めて、こんなすごいいいね、と思う事例紹介 など

(3) 参加パネリスト

【北海道ブロック】

札幌駅総合開発（株）

五十嵐 勇人 氏（第18期）

【東北ブロック】

（株）盛岡ターミナルビル

佐藤 繁 氏（第21期）

【関東・甲信越ブロック】

（株）東急モルズデベロップメント

蓮池 美砂絵 氏（第21期）

【中部ブロック】

（株）豊田まちづくり

亀頭 成江 氏（第22期）

(4) 司会

（株）船場 加藤 麻希 氏（第18期）



パネリスト4名と司会進行役

## 【第二部】新SC経営士との交流・意見交換（45分）

(1) 内容

- ・ 新SC経営士より事前に受領した「プロフィールシート」をもとに、司会がインタビューを実施。
- ・ パネリストとの質疑・応答の時間を設け、積極的に意見交換を行う。
- ・ オンライン参加の既存SC経営士との交流を深める

(2) 進行

・ 加藤 麻希 氏、蓮池 美砂絵 氏（Wキャスト）

## 【参加者数】

- ・ 会場参加者 16名（新SC経営士のみ）
- ・ オンライン参加者 45名（うち、新SC経営士は8名）



新SC経営士の皆さん

## 震災復興11年目の三陸をめぐる

未曾有の大災害をもたらした東北大地震からもう11年が経ちました。東北ブロックの企画として、当時経営士が三陸を訪れたあの暑い夏の日から11年を経た東北の復興の状況、三陸のまちづくりの今を探る視察を行いました。

盛岡を起点に三陸道を仙台まで移動する長丁場の視察ツアーでしたが、各地の行政や商業施設の関係者とも情報交換をし、とても有意義な視察研修とすることができました。

宮古市では山本市長や石川三陸鉄道社長の三陸復興や地域活性化への取り組みへの思いをお伺いし、キャッセン大船渡やシーバルピア女川ではまちづくりにおける様々なチャレンジや再生への息吹に触れることができました。加えて仙台フルーツパーク荒浜では観光農園として被災エリアの再生に取り組む仙台ターミナルビルの新規事業の現状とこれからの展望について触れるとともに、ブルーベリー摘み取り体験など中身の濃い2日間でした。

各地とも復興基本計画の策定のもと、着実に復興、まちづくりは進んできておりますが、地域人口の減少、高齢化等による先行き不透明感など、それぞれの街が抱える課題は多いものと思われまます。東北の被災地のまちの再生はそんなに生易しいものではありませんが、東北の復興と活性化こそが日本の未来につながると思いを今回の視察を経てさらに強くしました。

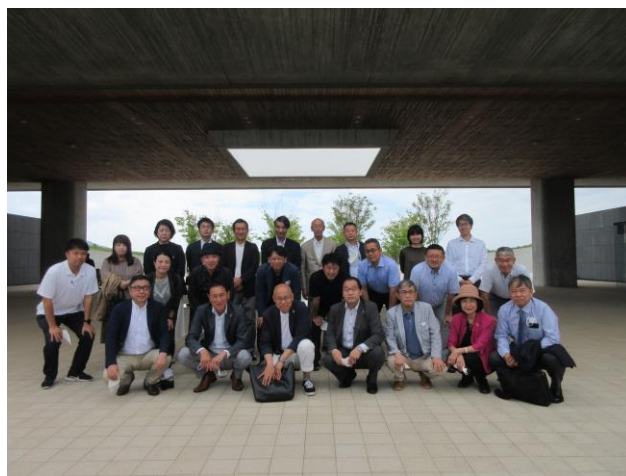
今回、藤木会長をはじめ各地の経営士、SC関係者25名のご参加をいただきました。さまざまな意見交換をはじめ、皆さんとのコミュニケーションを深められたことも東北ブロックのこれからの活動の支えとなるものと思えます。ご参加の皆さんにあらためて感謝申し上げます。

SC経営士会東北ブロックはまだまだメンバーも少なく、地域に点在しているため、活動へのハードルは高いものがありますが、今回の視察研修を契機に若手経営士の参画を増やし、活動の活性化に努めていきたいと思っております。

今後とも東北への応援、よろしくお願いいたします。



山本宮古市長と石川三陸鉄道社長との懇談



陸前高田復興祈念公園

# 【宮城大学 冠講座 報告レポート①】 (株)三越伊勢丹 長谷川 丈洋

●2022年7月20日開催 「SCにおけるテクノロジー活用<事例研究>」

三越伊勢丹で、<FOOD & TIME ISETAN >2店舗の店長をしている29期・長谷川と申します。今回、冠講座の講師という機会をいただき、大変貴重な経験をする事ができました。誠にありがとうございました。簡単なレポートにてご報告をさせていただきたいと思えます。



## 【事前準備】

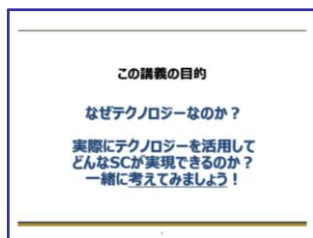
最初は、自分自身も社としても苦手としている「テクノロジー」について語るということで途方に暮れていましたが、諸先輩方からのアドバイスを受け、「ありのままの現状を素直に話せばよい」と開き直ることができました。むしろ、最新テクノロジーに明るい学生の皆さんと共に考え、意見やアイデアをもらえるには?と、学生に身近な話題や、ヴィジュアル、具体的な事例を中心に立て付けを工夫しました。

## 【講義当日】

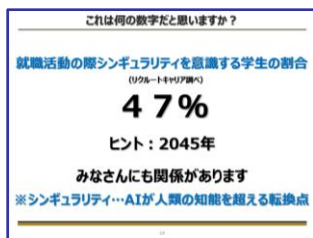
教壇に立つという慣れない体験に多少戸惑いはあったものの、学生さんの熱心な眼差しにこちらも熱くなり、あっという間の90分でした。我々が学生の頃と比べると、手を挙げたり、発言をしたり、という点については若干消極的に感じる部分もありましたが、講義中を通して真剣に耳を傾けるという姿勢は素晴らしく、私も背筋が伸びる思いをしました。

## 【やってみて】

普段、何となく考えていることも、学生に話すとなると、自分の頭の中で改めて整理し直す必要がでてくるため、思いがけず貴重な機会となりました。また、何よりこれから社会に出ようとする若い方々と接することは、日々の業務の中で忘れかけていたものを思い出し、それだけで大変エネルギーをもらうことができました。



「共に考える」立て付け



学生が身近に感じられる話題



ヴィジュアルで分かりやすく



フード&タイムイセタンの具体例

# 【冠講座 報告レポート②】盛岡ターミナルビル(株) 村上恵美

●6月29日 4限 「地域の一員としてのSC 地域とSCの関係性・災害時の役割」  
盛岡ターミナルビル(フェザン)の村上(29期)と申します。宮城大学での冠講座の講師という、貴重な機会を頂戴いたしました。ありがとうございます。簡単ですが、冠講座の報告を以下にまとめさせていただきます。



## 【内容を決めるまで...】

SCの事を知らない学生という前提で、どのような事を伝えれば興味を持ってもらえるか、理解しやすいか、をできる限り考慮しました。また私にはアカデミックな発表は難しいので、事例紹介を中心にその背景にある意図を丁寧に説明して理解してもらいたいという気持ちで組み立てました。災害の事例は私自身が前職の際に仙台の施設で東日本大震災を経験したため、そこで感じた事を紹介することにしました。宮城という土地柄、東日本大震災を小学生のころに経験した学生が多いのだらうと思うと、しっかりと向き合い、今後に繋がる内容にまとめなければならぬという緊張感がありました。

## 【内容の組み立て】

弊社の地域と繋がる取り組みの紹介、またイベント的な要素だけではなく、お土産館を改装した際の事例も紹介し、通常の業務を通して地域と繋がっているという事も伝えられるように説明をしました。また災害関連については陸前高田市の商業施設の方にヒアリングをし、今行われていることを伝えたいと思いました。

## 【講義】

今回は感染症対策の為、担当教授の内田先生のゼミ生がリアル聴講、その他の方はオンラインでの聴講でしたが、リアルで参加して下さった学生がとても真剣に話を聞いてくれました。地方の公立大学ということもあってか、地域とどのような手法で、どのように繋がり、成果を出していくかという質問もあり、学生自身も地域を良くするためのヒントを得たいといった感じを得ました。この前向きな姿勢に、私自身も元氣とやる気をいただいたように思います。

## 【反省】

普段なかなかないシチュエーションにかなり緊張をし、時間配分に失敗し早く終わってしまい、内田先生にフォローをいただきました。事例としても弊社だけではなく、グループSCや繋がりのあるSCの事例をもっと調べて様々な施設の紹介もすれば良かったと反省をしています。

⇒

高田松原商業開発協同組合  
事務局長 菅原 様 に聞きました

「身の丈に合ったことをする」これが合言葉  
⇒それを集めての一つの力にする

エリアの他企業とは同じアイデンティティを持ちながらも  
「ゆるく」繋がっている感じ  
⇒それぞれが出来る範囲でできることをする  
近所付き合いのような関係

街の中心的存在としての役割を  
背伸びをしない姿勢で果たす

大切なことは街の中で存在し続けること  
買物ができる場所はアバッセシカない ⇒ **公共性高**

岩手県陸前高田市にある「アバッセたかた」の事務局長の方にお話を伺いました。商業施設の役割の基本を感じるお話でしたのでご紹介をさせていただきます。

## ～LINK～ 経営士の輪

この連載では、世界で活躍するSC経営士の皆様をリレー形式で紹介します。

### 【前回登場の高橋さんより】

「南海電気鉄道株式会社」の渡辺亮さんをご紹介します。

「なんばパークス」も個人的に大好きな施設です。施設フォルムも素晴らしければ、出店されているSHOPも地元ならではのおしゃれな顔ぶれも沢山のワクワクします。渡辺さんは、大変フットワーク軽く、不屈の精神を持ったリーシングマンですが、最近はお仕事の幅も広がっているとか。女子よりも女子っぽいキラキラした生活を楽しんでいるライフスタイルにも注目したいところです。それではよろしくお願ひします。

渡辺 亮(ワタナベ リョウ) さん(29期)

南海電気鉄道株式会社

不動産営業本部 SC営業部

南海電気鉄道株式会社 企画・アカウントティング・沿線・庶務 担当

高橋さん 素敵にご紹介いただき有難うございます！  
実際はそんなキラキラしていません笑

～現在の仕事について～

今年の春より10年以上携わったリーシング業務をはずれ、販促企画やデジタル施策、後方支援業務に携わることになりました。不慣れな業務も多いですが、リーシング以外でのSC運営の魅力を感じ、やり甲斐を持って過ごしております。

[写真1] 緑は無農薬で管理され都会の中にも貴重な生態系が見られます。ガーデナーさんの想いが詰まっています。

[写真2] 4SCで使えるなんばまるっとアプリを5/19にローンチ。

[写真3] SC担当者が実際に食べた料理を投稿するグルメInstagramを立ち上げました。私も参加しています。



[写真1] パークスガーデン



[写真2]

[写真3]



～BTS愛～

コロナ禍で鬱々とした毎日を救ってくれたのは、BTSの動画コンテンツや楽曲の数々です。ファンクラブにも入会、ARMY(※BTSのファンのこと)として推し活の日々を過ごしています。

圧倒的なダンスや歌唱力といった表現力に加え、メンバーそれぞれの多様な魅力、彼らが発信する“ありのままの自分を愛そう～LOVE MY SELF～”というメッセージに感銘を受けました!

BTSにハマったことをきっかけに、アートや自由なファッションにも興味を持ち、価値観やライフスタイルが変わりました。

※ SC経営士でARMYの方がいたら仲良くして下さい(笑)

～整える時間～

今年の1月頃に体調を崩したことをきっかけに、食生活とボディケアを見直しました。お酒は最小限としプロテインやもち麦を摂取、ストレッチ・筋トレで1日の始まりと終わりをリセットし、身体と心を整えます。

休日は美術館やアート祭で目の保養と心に潤いを、お酒の代わりにカフェで美味しい珈琲とスイーツを頂きリフレッシュ!

[写真4・5] 瀬戸内国際芸術祭2022春に行った豊島美術館と地中美術館。何度でも訪れたい…

[写真6] オフィス近くのBrooklyn Roasting Companyはヘビロテで利用。店内で作るスイーツとBGMの選曲が素晴らしい。



[写真4] 海へと向かう豊島美術館手前の坂道



[写真5] 地中美術館



[写真6] パンプキンブレッド & いちじくのスコーン

## 新SC経営士に聞く 駒田 貴也(コマダ タカヤ) さん

株式会社ジェイアール東海高島屋 モール事業部 営業グループ セクションチーフ



### ●受験の動機と感想

受験資格要件である5年の実務経験を満たしたタイミングであったことから、これを機にSC業界に関する事象を体系立てて学び、もう一段階スキルアップしたいという思いがあり受験を決意しました。  
受験を決めたものの、膨大な範囲と難しさに心が折れかけましたが、何とか合格することができ、今では挑戦してよかったと感じています。

### ●今後の抱負

日々の実務をしっかりと考え、やり遂げることはもちろん、個人の学びの時間を作ることがいかに大切かということ、試験を通じて改めて感じました。引き続き、チャレンジや学びの機会を意識的に作っていきたくと考えています。  
その他、SC経営士のネットワークを大切に、そこでの学びを社内に展開、SC業界の持続的発展に貢献できるよう尽力して参ります。

### ●プロフィール

1993年 三重県生まれ。  
2016年 株式会社ジェイアール東海高島屋 入社。食料品部にて販売、プロモーションの企画・立案を担当。  
2018年 東海旅客鉄道株式会社 事業推進本部 出向。リーシング業務、JR東海グループ駅ビルの会社管理を担当。  
2019年 東京ステーション開発株式会社 営業開発部 出向。新ゾーン開業プロジェクトの一員としてリーシング業務、販促、研修等を担当。  
2021年～現在 株式会社ジェイアール東海高島屋 モール事業部 出向復帰。タカシマヤゲートタワーモールにてリーシング業務、テナント管理を担当。

### ●写真

下段左 2017年に開業したばかりのタカシマヤゲートタワーモールで従事しています。名古屋にお越しの際はお声掛けください！  
下段中 月1回の頻度ですが、仕事終わりに同僚とフットサルをしています!(対戦相手を募集中です!)  
下段右 休日は始めたばかりのキャンプをしています。詳しい方がいらっしゃいましたら色々教えてください!!!



## 新SC経営士に聞く 古屋 友絵(コヤ トモエ) さん

東神開発株式会社 営業本部 営業企画部 営業推進グループ 担当

### ●受験の動機と感想

入社してから今までの経験を、何か目に見える形にしてみようか、という上司の提言を受けて受験しました。  
過去問と、苦手分野を中心に取組みましたが、思いのほか楽しみながら勉強することができました。また、論文・面接の準備期間には今までにないほどSCについて思いを巡らせ、自分自身と仕事を見返すとてもよい機会となりました。

### ●今後の抱負

自分がSC経営士になる日が来るとは思っていませんでしたが、せっかくチャンスをいただいたので、SC経営士の皆様との交流を通じて知識を深め、刺激を受けながら、よりよいSCのためにできることを探求していきたくと思います。

### ●プロフィール

1999年 東神開発(株)入社。玉川営業グループ営業企画に配属。予算管理・従業員教育を担当  
2002年 南館増築推進室に異動。玉川高島屋S・C南館増築に伴う事務局業務を担当(2003/9開業)  
2004年 玉川事業部営業グループ食料品担当に。リーシングや販促、契約更改など、食料品フロア運営に関する業務を担当  
2011年 営業企画部営業統括グループ(現営業推進グループ)に異動。以降、全施設に関する営業施策・運営サポート業務の検討・推進を担当

### ●写真

右 上 今年、念願の家を建てました。建築現場での思い出の一枚です。このあといろいろありましたが、完成した家は快適な住み心地です。  
下段左 入社以来、ずっと二子玉川勤務です。街が変化を続ける中、変わらない木々の緑を見るときいつもほっとします。  
下段中 家では金魚に癒されています。お祭りの金魚すくいから来て3年が経ち、ぐんぐん大きくなってフナのようになっています。  
下段右 かわいい雑貨や民芸品を集めるのが好きです。素敵に飾るのは難しいものの、家のあちこちに配置して眺めては自己満足しています。



## 新SC経営士に聞く 鈴木 美紀子(スズキ ミキコ) さん

株式会社ジェイアール東海高島屋 モール事業本部 統括グループ

### ●受験の動機と感想

昨年春に育休から復帰し、心機一転、2021年はチャレンジの一年にしようと決めていました。ちょうど百貨店からSC部門に異動となったことも重なり、百貨店とは異なるSC業界の勉強をしてみたいと考えていたところ、身近な先輩方が取得されていることを知り、受験してみようと考えました。先輩方の多大なサポートがあったとはいえ、テキストを開くと睡魔に襲われ・・・本当に幅広い知識が求められるためなかなかしんどかったです。コロナによる試験延期がなければここには登場しておりません(汗)

### ●今後の抱負

まだまだSC業界について分からないことが多く勉強中ですので、皆様との交流の中で知識や考えを深めていきたいです。また移動制限もなくなりコロナも少しずつ落ち着いてきたので、様々な商業施設を自分の目で見て回りたいです!皆様宜しくお願いいたします。

### ●プロフィール

2008年 株式会社ジェイアール東海高島屋に入社

入社後3年間は婦人洋品売場に配属される。その後百貨店の営業投資担当(計5年)や予算編成等の計数管理(計3年)を担当し、2019年に育休を取得 (2017年 タカシマヤゲートタワーモールがオープン)

2021年 育休復帰のタイミングでモール事業本部に異動となり、顧客分析やハウスカード獲得推進、営業施策の立案等を担当

2022年 収支管理業務を担当

### ●写真

下段左 去年のクリスマスの時のタカシマヤゲートタワーモール

下段中 名古屋シティマラソン2022(ハーフ)完走しました。

下段右 三重県にある複合施設「VISON」に同期で行ったとき。



## 新SC経営士に聞く 北村 優佳(キタムラ ユカ) さん

株式会社アトレ 総合企画部

### ●受験の動機と感想

入社10年を迎え更にSC業界で成長したいと思い、受験を決めました。勉強法や論文作成をはじめ、先輩方にご指導頂いたおかげで、合格することができました。

### ●今後の抱負

SC経営士の先輩・同期の方々との交流を通じ、学ばせていただいたことを業務に反映してまいります。

### ●プロフィール

2011年 株式会社アトレ入社。総務部 新卒採用担当

2012年 アトレ目黒店 営業課 3階ファッションフロア担当

2017年 アトレ秋葉原 営業課 1階食料品フロア改装担当

2019年 総合企画部 北関東子会社(水戸・宇都宮・高崎)物件管理等担当

### ●写真

右 上 アトレ本社の入り口にて

下段左 若手社員向けの研修を開催

下段中 パンケーキ屋さんを巡っています

下段右 山登りでリフレッシュ!





## 新SC経営士に聞く 熊井 友和(クマイ トモカズ) さん

株式会社博多ステーションビル 営業企画部 部長

### ●受験の動機と感想

自己研鑽のためチャレンジしました。特に二次試験の論文が大変苦戦しましたが、何とか合格をいただくことができました。

### ●今後の抱負

SC経営士の皆様との交流などにより自分の視野を広め、SC業界に少しでも貢献できるよう努めていきたいと思います。また、現在弊社には私以外にSC経営士がいませんので、資格の取得を推奨するほか、1人でも多くの社員が資格を取得できるようサポートしたいと思います。

### ●プロフィール

1976年 福岡県春日市生まれ。  
1998年 (株)博多ステーションビル入社。入社当時は直営事業を担当。その後、運営管理やリーシングなどを担当  
2020年 現職

### ●写真

右 上 弊社が運営する福岡博多駅のマイングはホークスやアビスパをサポートしています

下段左 マイングでお買い物

の際は、ぜひ顔ハメ  
パネルをお試し  
ください

下段中 毎年布袋さんの  
ライブに行っています

下段右 博多祇園山笠の  
博多駅商店連合会の  
飾り山です  
今年は3年ぶりに  
昇き山も開催され  
ました



## 新コラム

## SCと競馬と人生と 「歴史を重ね、人は生きていく」

業務広報G・中山(22期)です。

京王・山路さん➡東急・高橋さんと繋いだバトンを引き継ぎます!

競馬歴25年、過去出資した愛馬は13頭。

今年は海外重賞(UAE)やJRA・G1(安田記念/右)も

愛馬ソングラインで優勝することができました!!

38歳で、安定した鉄道グループ企業を退社し独立起業した人生と、心の支えとなってくれた愛馬たちや競馬仲間とのエピソードを交え、次回からSCコラムを兼ねて巻末にお邪魔しようと思います。一部のコアファンだけ読むマニアコラムだと思っていますが、今後ぜひお楽しみに♪(笑)



出展: JRA 日本中央競馬会  
出資馬掲載につき、サンデーサラブレッドクラブ許可済  
著者近影(株)トリニティーズ



東急モルズデベロップメント・高橋です。

2019年秋から足かけ2年半計14回、当コラムを担当してきましたが、ようやくバトンタッチが適いました(笑)。馬仲間であり、ガチ・リアル馬主のトリニティーズ・中山さんへバトンタッチします。元同僚で仕事場でも馬談義をしていた仲間ですので、ネタの豊富さ、クオリティ含め安心してお任せすることができます。これまでの皆様のご愛顧に感謝申し上げますと共に、今後は一読者として中山さんのコラムを楽しみ、応援したいと思います。本当にありがとうございました!

### 【編集後記】

今回のメタバース×SC、将来に向けて、いろいろな妄想をしながら拝見していたところ、JR西日本さんが、バーチャル大阪駅をつかったという興味深い記事がありました。

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUF089480Y2A900C2000000/>

我々SC業界とは、切っても切り離せない鉄道業界でも、コロナ、そして働き方の恒常的な変化が、人口減少に追い打ちをかけているわけですが、こうした新たな顧客接点を生み出す取り組みには、メタバースを介して、これまでの常識の枠を超えた産官学やスタートアップとの連携にも見習い、減点法ではなく、ぜひとも将来性を見出しながら、新たな事業機会を探っていきたくと改めて感じたところです。

法令上の諸制限をナシに、お客さまやショップスタッフ、そして地域の自由なアイデアをあれこれ加味したバーチャルSCが、リアルなSCとなってカタチになる日も、そう遠くはないのかもしれない。

今月も最後までご覧いただき、ありがとうございました。

担当:今井(16期)

◆所属先・部署・役職に変更がありましたらお知らせください。

◆「SC経営士ニュース」に対するご意見・ご感想は、こちらにお願いします。

SC経営士会 業務広報グループ  
田部井(17期)

[ktabei@gms.tokyo-dome.co.jp](mailto:ktabei@gms.tokyo-dome.co.jp)

SC協会 SC経営士会事務局

[sckeiishikai@jpsc.or.jp](mailto:sckeiishikai@jpsc.or.jp)